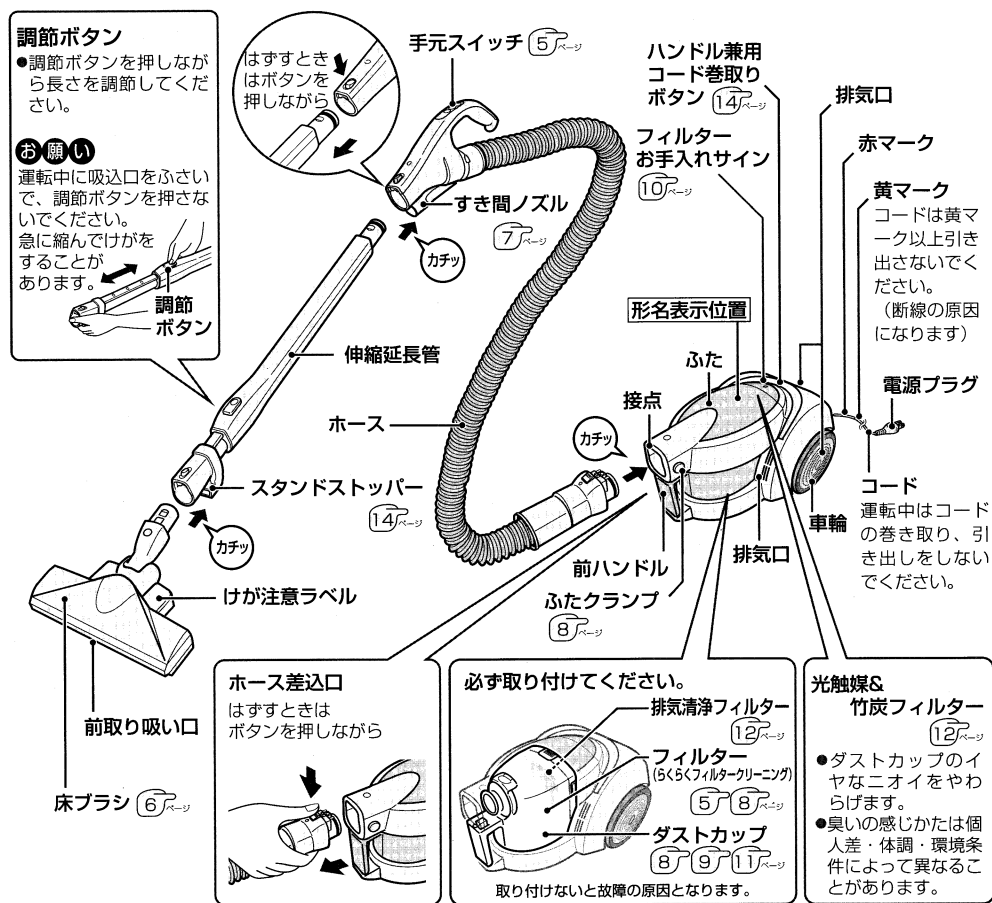


各部のなまえとはたらき

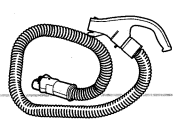


標準付属品

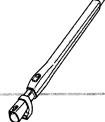
床ブラシ (1個)
(エアークリーンヘッド)



ホース (1本)



伸縮延長管 (1本)



すき間ノズル (1個)



7ページを参照して取り付けください。

別売品 ●下記の価格は2003年5月現在の希望小売価格です。変更する場合もあります。

フリーアングルブラシ付
3段伸縮すき間ノズル VJ-N2
¥2,500 (税別)



丸ブラシ (馬毛製)
VJ-M2U
¥1,200 (税別)



ソフトフロアブラシ
VJ-F110
¥4,300 (税別)



ふとん用ブラシ
VJ-B4
¥6,000 (税別)



お掃除のしかた

1 電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

2 手元スイッチを押す

「強」でお掃除するとき

じゅうたんなど強い吸込力が必要なときに

強 を押す

「中」でお掃除するとき

床やたたみなどのお掃除に
吸い付きやすいホットカーペットや走行の重い
じゅうたんなどのお掃除に

弱/中 を1回押す

「弱」でお掃除するとき

静かに掃除したいときやカーテンなど吸い付いて
操作がしにくいときのお掃除に
すき間ノズルを使ったお掃除に

弱/中 を2回押す

(弱/中)を押すごとに「中→弱」が切り替わります。

運転を止めるとき

※電源プラグがコンセントに差し込まれていると、「切」のときでも約2Wの電力を消費します。

切 を押す

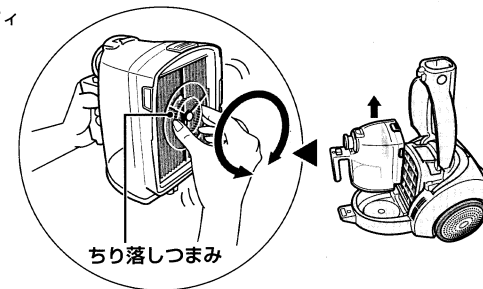
お知らせ ●大きなゴミなどを急激に吸い付かせた場合、操作を軽くするため吸込力を弱めます。

お願い ●大きなゴミを吸い付かせたまま約3分間使用すると、モーターの過熱を防ぐため、運転が止まります。このようなときは、ゴミを取りのぞき手元スイッチを押してください。再びご使用になれます。

らくらくフィルタークリーニング

ちり落としつまみを回転させるだけで、手を汚さず簡単にフィルターのちり落としができます。

(8ページ)

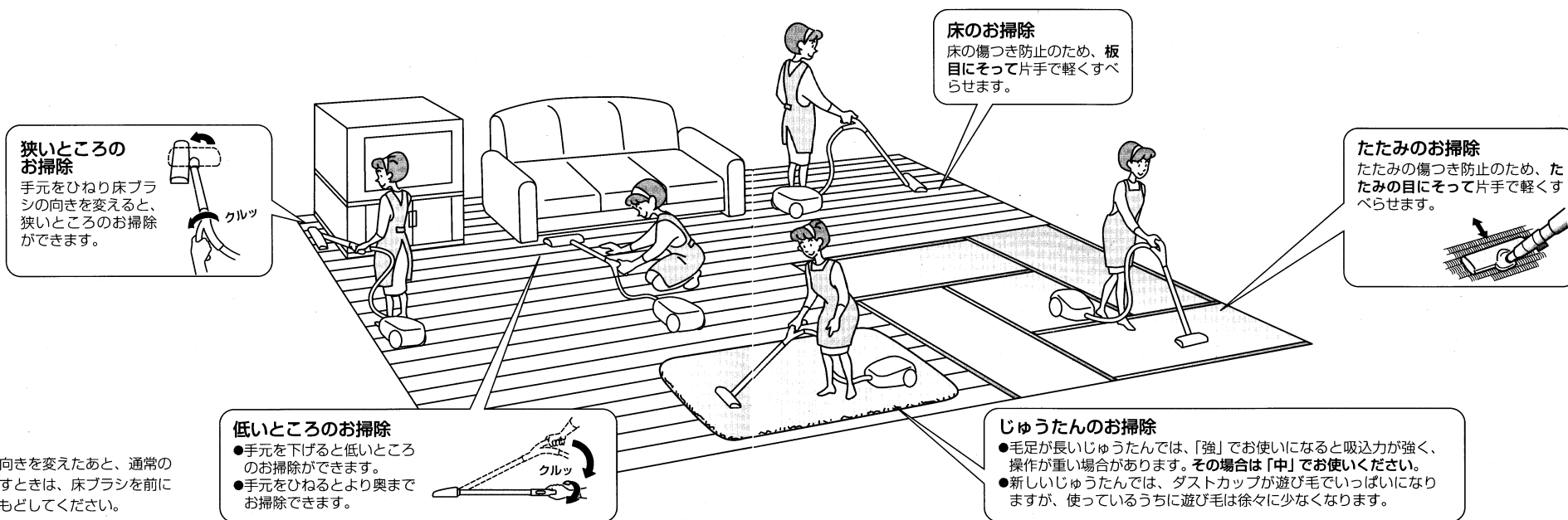


お願い

●ゴミを捨てる前に必ずおこなってください。

お掃除のコツ

狭いところや低いところのお掃除をするときは、スタンドストッパーが床面、家具などにあたらないよう注意してください。



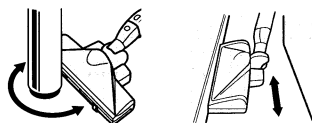
お願い

床ブラシの向きを変えたあと、通常の位置にもどすときは、床ブラシを前に押しながもどしてください。

床ブラシの使いかた

■前取り吸い口について

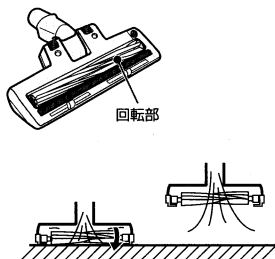
前取り吸い口でテーブルの脚に溜まったホコリや狭いすき間や壁ぎわのゴミをとります。



■回転部について

警告 床ブラシの回転部など底面には触れない
手などをけがすることがあります。

- 床ブラシは、床面に付くと回転部の回転がはやくなり、ゴミをかき込んで吸い込みます。
- ダストカップがゴミでいっぱいになっていなくても、ゴミの種類によっては、回転部が回らないことがあります。このようなときは、お手入れしてください。
- 床ブラシを持ち上げたときは、安全のため回転部は止まります。(ゆっくり回る場合もあります)
- ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度の高いじゅうたんなどじゅうたんの種類によっては、回転部の回転が止まる場合があります。



すき間ノズルの使いかた

通常は、**弱**を2回押し、「弱」でお使いください。

※強い吸込力で掃除するときは、**中**を1回押し、「中」でお使いください。

お願い

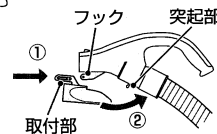
- 床などに使わない。傷をつけることがあります。
- 20分以上続けて使用しない。モーターに負担がかかります。
- 「強」で使用すると、保護装置はたらくことがあります。
- すき間ノズルをフックから無理にはずさない。フックが変形して収納できなくなります。
- すき間ノズルは衝撃により収納状態でもはずれることがあります。



すき間ノズルは、ホースの手元スイッチ部の下側に収納できます。
●伸縮延長管の先にもセットして使用できます。

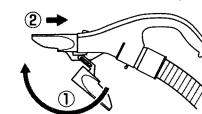
取り付けるとき

- ①すき間ノズルの取付部をフックと平行にし、止まるまで差し込む
- ②すき間ノズルの先を突起部にめ込む



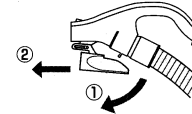
ホースにセットするとき

- ①すき間ノズルの先端を突起部からはずし、フックに引っかけたまま、ノズルの先端を180°回転させる
- ②ホースの先端にしっかり差し込む



取りはずすとき

- ①すき間ノズルの先を突起部からはずす
- ②フックと平行に、すき間ノズルを引き抜く



ゴミの捨てかた

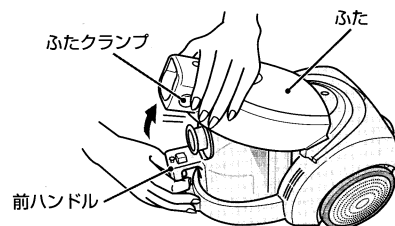
- お掃除が終わったらこまめにゴミを捨てましょう。
- ゴミすてラインを越えると吸込力が低下します。
- ダストカップの中でゴミが回転しなくても、ゴミすてライン以下であれば吸込力に影響はありません。

※ゴミを捨てる前には **切** を押して運転を止め、電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。

お願い

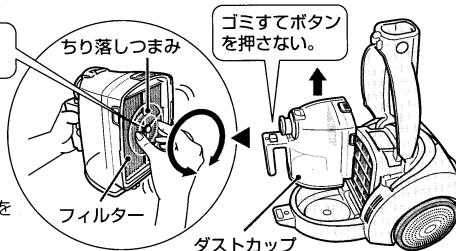
- ゴミの種類によりゴミすてラインにゴミがたまる前に吸込力が弱くなる場合があります。このようなときは、ダストカップのゴミを捨て、ネットのゴミを取りのぞき、フィルターのお手入れをしてください。 **8P**~**12P**

1 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを開ける



2 ダストカップを取り出し、フィルターのちり落しをする

ちり落しつまみを数回転させる。



お願い

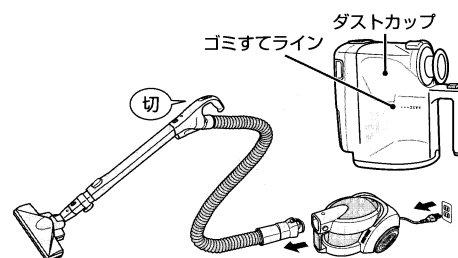
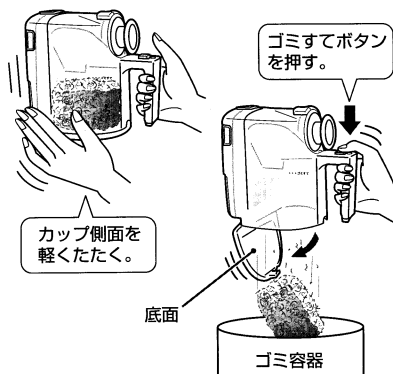
- 本体からダストカップをはずすとき、ゴミすてボタンを押さないでください。ゴミがこぼれます。
- 吸込力が弱い場合、さらに数回転させてください。

3 ダストカップを大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中に入れ、前ハンドルのゴミすてボタンを押す

- ダストカップの底面が開き、中のゴミが捨てられます。
- ゴミを捨てる前にダストカップ側面を軽くたたくと、ゴミが落ちやすくなります。

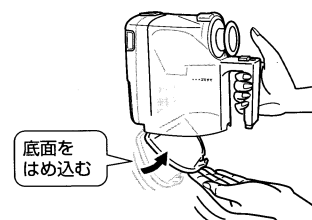
お願い

- ダストカップの底面は直接手で開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミすてボタンを押してください。
- ダストカップの底面には無理な力を加えないでください。はずれることがあります。

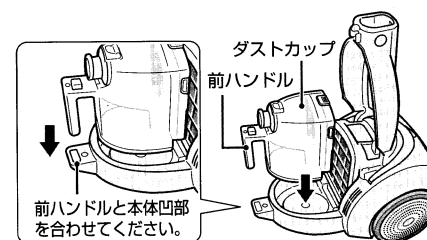


4 ダストカップの底面を手で戻しカチッと音がするまではめ込む

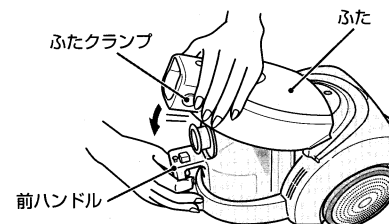
- ダストカップの底面が開いた状態でゴミすてボタンを押しても底面は戻りません。



5 本体にダストカップをのせる



6 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを閉める



お願い

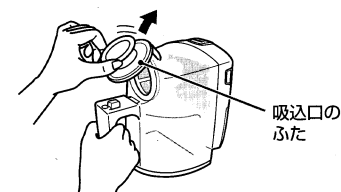
- ふたで指をはさまないように注意してください。

ネット（ダストカップ）のゴミの取りかた

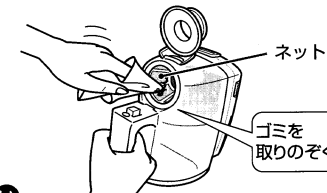
大きなゴミを吸ったときや、ゴミすてラインを越えてゴミを吸ったときなど、ダストカップ上部のネット部にゴミが押し出されて残ってしまうことがあります。

※週1~2回は吸込口のふたを開け、中のゴミを取りのぞいてください。

1 吸込口のふたを開ける



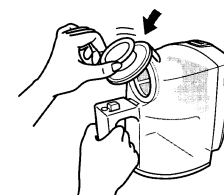
2 ネットについたゴミをティッシュペーパーなどで取りのぞく




お願い

- ネットを強く押さないでください。破損の原因になります。

3 吸込口のふたを閉める

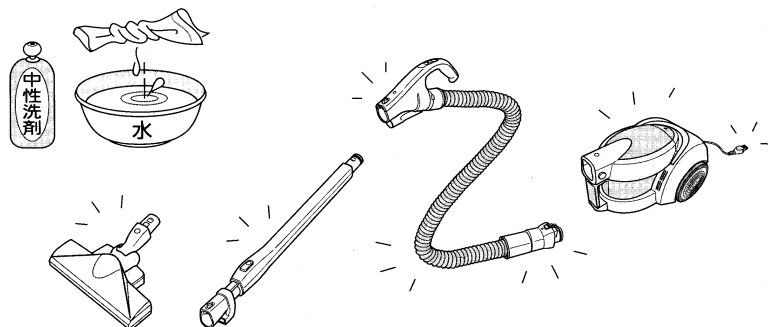


お手入れ

- ゴミを捨てても吸い込みが弱いとき、フィルターのお手入れをしてください。
- ※お手入れの前には  を押して運転を止め、電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。

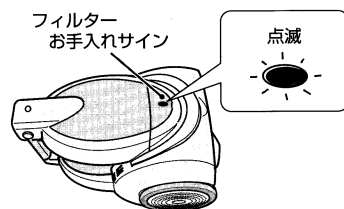
本体・付属品

本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませた布でふいてください。ベンジンなどでふくと、ひび割れ、変形、変色の原因になります。



フィルターお手入れサイン

フィルターのお手入れ時期の目安をお知らせします。
フィルターが目づまりするとフィルターお手入れサインが点滅します。フィルターお手入れサインが点滅してからそのままご使用になると、モーターの保護のために自動的にパワーが下がります。



お願い

- 吸込力を持続させるために月に一度を目安にお手入れしてください。
- お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります。
- 延長コードを使用したり、他の家電製品と同一コンセントでお使いになると、電源電圧の低下により、フィルターお手入れサインが早く点滅する場合があります。定格15A以上の単独コンセントでご使用ください。

警告

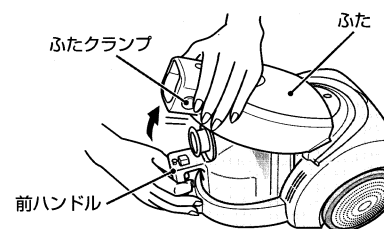


本体・ホース・伸縮延長管は絶対に水洗いしない
感電・故障する場合があります。

フィルター

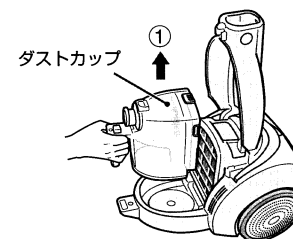
■フィルターのお手入れ方法

1 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを開ける



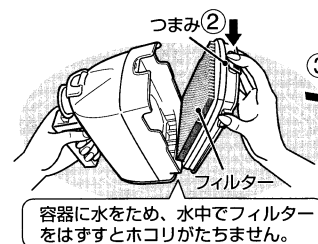
2 ダストカップを取り出し、フィルターをはずす

①ダストカップを本体から取り出す。

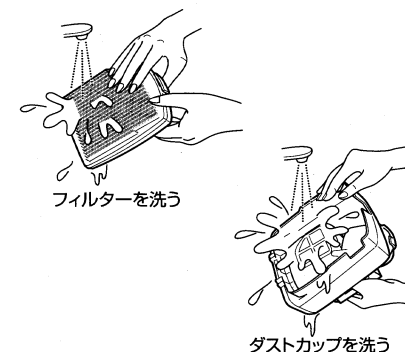


②つまみを押してロックを解除する。

③フィルターをはずす。

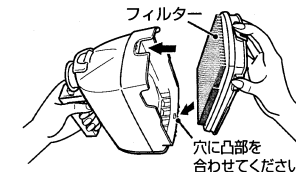


3 フィルター、ダストカップを洗った後、水気を切り、十分に自然乾燥させる

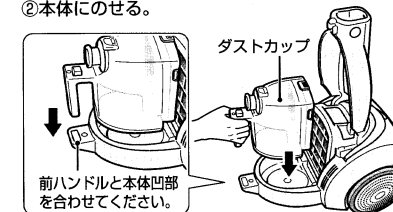


4 フィルターをセットし、ダストカップを本体にのせる

①ダストカップにセットする。



②本体にのせる。



お願い

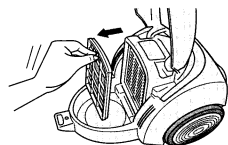
- フィルターは強く引っ張らないでください。破損の原因になります。
- お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になると故障の原因になります。
- 毛のかたいブラシで洗ったり、ネットを強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
- 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーなどで乾かさしないでください。

お手入れ(つづき)

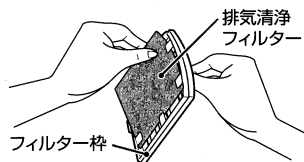
フィルター(つづき)

■排気清浄フィルター

1 フィルター枠をはずす



2 フィルター枠から排気清浄フィルターをはずす



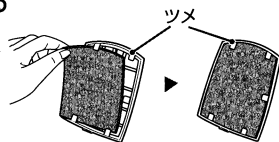
3 押し洗いをし、陰干しして十分に乾燥させる



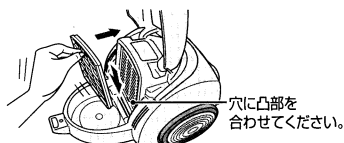
お願い

- 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないでください。

4 排気清浄フィルターをフィルター枠にはめる



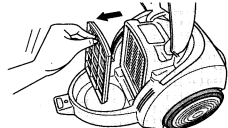
5 フィルター枠を本体にはめ込む



■光触媒&竹炭フィルター

すぐれた吸着・脱臭効果のある光触媒シート(竹炭入り)を用いたフィルターです。光触媒により太陽光に含まれる紫外線の作用で悪臭物質を分解するため、太陽光に当てることで消臭効果が復帰します。通常はお手入れの必要はありませんが、消臭効果が減少したと感じられるときはお手入れをしてください。(臭いの感じかたは体調・環境条件によって異なります。)

1 フィルター枠をはずす

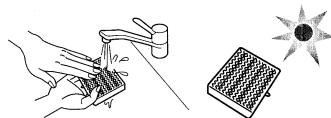


2 光触媒&竹炭フィルターをはずす

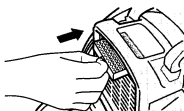


3 光触媒&竹炭フィルターを水洗いし、天日で十分に乾燥させる

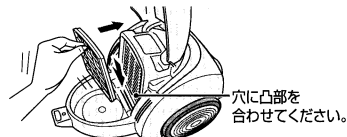
※このときフィルターを変形させると本体に差し込めなくなりますので、注意してください。



4 光触媒&竹炭フィルターを本体に差し込む



5 フィルター枠を本体にはめ込む



お知らせ

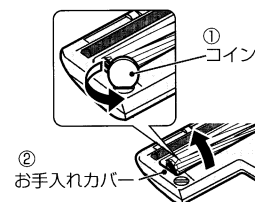
- 新しい排気清浄フィルターおよび光触媒&竹炭フィルターは、お買い上げの販売店を通じて、取りよせることができます。(有料)

床ブラシ

お手入れは、伸縮延長管から取りはずしておこなってください。週1~2度、お掃除の最後にお手入れしてください。回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

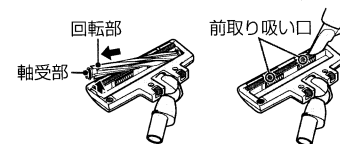
1 床ブラシを裏返し、お手入れカバーをはずす

- ①溝にコインを入れ「ひらく」の位置に合わせる。
- ②お手入れカバーを持ち上げる。



2 回転部をはずし、ゴミを取りのぞく

- ①特に軸受部からみついたゴミと前取り吸い口に入ったゴミを取りのぞく。



- ②回転部に糸くずや毛・ペット毛などがからみついたときは、はさみで取りのぞき、車輪のまわりに入ったゴミはピンセットで取りのぞく。



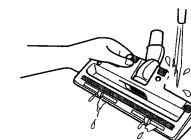
お願い

- ゴミがたまったらそのまま使いになると車輪が回らず、床、たたみを傷つけることがあります。

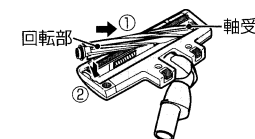
お願い

- 洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
- 毛のかたいブラシで洗わないでください。
- 暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。
- 回転部の軸受には注油しないでください。回転不良の原因になります。
- ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間がないことを確かめてください。すき間があると回転部が回りません。

3 ブラシ本体、カバー、回転部を水で洗い、陰干しして十分に乾燥させる

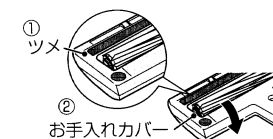


4 十分な乾燥を確認して回転部を取り付ける



5 お手入れカバーを取り付ける

- ①前のツメを合わせる。
- ②矢印の方向にセットする。



6 溝にコインを入れ「しめる」の位置に合わせる

